

園の理念 子どもの健やかな育ちを保護者や地域と共に支える

教育保育目標 子どもの健全な心身の発達をはかりつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培うため家庭や地域での生活を含め生活全体が豊かなものになるようにする。そのために園では、家庭との連携を図りながら園における生活を通して、生きる力の基礎を育成する。

本年度の具体的な目標と評価

目標	評価
子ども主体の保育の提供	友達や職員に思っていることを伝える機会が、集会等で準備されている。次のステップとして意見や思いを主張したり、ほかの意見を取り入れながらグループの意見と出来るような活動を希望する。
保育環境の配慮	園での生活の中、子どもが一休みできるようなスペースの設定を設定する予定だったが、実際そのスペースでゆっくり過ごすような様子ではない遊びが展開されていた。
職員の資質向上	キャリアアップ研修に自ら申し込む姿や、園内研修を立案したりする姿が見られた。
地域における子育て支援の実践と情報提供	東郷地域の区長会に公民館等に置いてもらえるように毎月園だよりを配布している。
小学校との連携強化	東郷学園を中心に意見交換や設定保育ではない公開保育の様子を見る機会を設定しその振り返り迄できた。次は、小学校へ入学後の子供の姿を視察し振り返りの機会を作りたい。

評価項目	評価	改善策
1.教育・保育の計画 ・園の基本理念・基本方針・目標を職員が理解している ・幼児連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している ・乳幼児の発達や実態に即したねらいや内容を設定し、3歳未満児は個別の計画を作成している	4 5 5	短期計画は、立案され実践している。一方、長期計画の振り返りが行われていないので工夫が必要。
2.保育内容 ・子どもに分かりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心掛けている ・子どもの名前は、呼び捨てにせず「ちゃん」「くん」で呼んでいる ・「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている ・子どもの目線に立ち、気持ちやおもいを大切にしながら対応している ・1人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった教育保育に努めようとしている ・身近な自然や地域社会と関わるような取り組みをしている ・子どもが意欲的に取り組める環境を用意し言葉をかけている ・遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している (例・社会的ルール・遊びのルール・当番活動・異年齢の交流など)	4 5 4 5 5 3 5 5	地域社会との関わりが少ない点について、過疎地域でありながら、市内まで20分の立地のため、目立った商店も少なく地域社会の存在が見えにくい。老人施設等の近くを通る際に会話をするが次のステップが見当たらない。子供の関心事を日頃から記録していくようにする。
3.保健管理 ・登園時や日常の健康観察、身体測定、健康診断を実施している ・「健康・安全や発達の確保」を図るための学校保健計画(学校保健計画・学校安全計画)を策定し、計画に基づいて生活安全指導・避難訓練・交通安全指導を実施している	5 5	疾病予防等の情報の発信を掲示板やメールで行っているが、実際当事者になった時に長期間の欠席を拒むケース

<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の病気やケガ・疾病予防等の情報提供を行っている 	4	<p>もあるので、県市の方針や学校保健法を基に取り扱いを明確化した方が良い。</p>
<p>4.安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故予防・感染症予防・避難訓練・自然災害等に対応出来る危機管理マニュアルがあり、訓練や園内研修の中で活用している ・安全点検（園内・保育室・遊具・ヒヤリハット）を実施し、会議を通して結果や改善点を職員が共有している ・緊急連絡カードの作成・一斉配信メールの登録・関係機関との連携体制を表示にするなど 緊急事態発生時への取り組みを行っている 	<p>3</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>危機管理マニュアルを本年作成し職員に配布したが、読み込まれてない、活用していないのが実情だった。園内研修のテーマとしたらどうか。</p>

5 段階評価の内容

- 1 できていない 2 まあまあ出来ている 3 出来ている 4 良く出来ている 5 とても出来ている